

ふみがえる あの頃の想い

～昭和20年代～



なんと！郡の青年団の陸上大会があったのです。

昭和二十年代は旧中蒲原郡は三十ヶ町村ほどありましたが町民には青年団があり陸上競技が盛んな時代でした。昭和二十五年郡大会が小須戸中

中蒲原郡 陸上競技大会の思い出

去る十一月に公民館で行われた小須戸地区市民展で「懐かしの公民館活動写真展」も同時開催しました。展示された写真は、現在まで公民館に保存、管理してきただけで昭和二十年代を中心に約五十点を厳選してパネルに飾りました。来館者は、自分の知人や身内の方の懐かしい写真を見つけて、とても懐かしそうに話し込んでおられる姿が結構見受けられました。今回は、そんなことで昭和二十年代の写真に関わりのある方から、当時を思い出して回想文を書いて頂きました。

こすど地区公民館報

発行 新潟市小須戸地区公民館 〒956-0101 新潟県新潟市小須戸117番地 TEL 0250-38-2234 FAX 0250-38-5210 編集・公民館報編集委員会

学校で開催されました。その時は五千メートルに出場し町民の皆様の応援をいただき地元小須戸大会に優勝する事ができ、その時の喜びが今も忘れる事ができません。又県大会にも出場する事になりました。当時私は二十一才でした。五十数年前の若き日の事が今も懐かしく思い出されます。

牛蒡が一等賞に

中野武(小向)



町の一大イベント！品評会

毎年、十一月三日の文化祭に開かれる農産物品評会に、わが家も出品した。白菜、里芋を出したけれども入賞はしなかった。ところが、牛蒡が一等になったのは、おどろくやら、よろこぶやら、わが家は大きいわね。その入賞した牛蒡は、母がいつのまに掘って来たのか、誰も知らなかった。母が自分で出品したのだった。あの頃の母は未だ五十を過ぎたばかりの若さだったのが思い出される。

護摩堂の観月会

丸山敬雄(小須戸)



山頂で若さかばじけた、あの頃

今からおおよそ、五十年余り前の写真ですが、小須戸山岳会主催で護摩堂山観月会が町民の大勢の参加で開催されたときのものです。当時道路は、アスファルト舗装でなく砂利道を歩いて旧田上温泉街を通り、東龍寺前より登山道に入って行ったが、道は現在2.3メートルの広い山道になってはいるが当時は狭い山道でよく滑ったもので、今は当時と違って常時護摩堂、高立、菩提寺山に大勢登って賑わっています。

「ためになった防災訓練」 土田彩花さん(小6・天ヶ沢新田) 防災訓練がありました。ふれあい会館に全部の地域が集って行なわれました。最初は、アルファ米という水かお湯を入れて作るご飯を作るのを見ました。次は消火器訓練でした。実際やってみると少し重かったです。次はけむり体験ハウスでした。けむりで前が見えなかつたけど、出てくれました。



最後は地震体験でした。とても怖くて恐かったです。そして中に戻って最初に作ったアルファ米を食べて帰りました。防災訓練をして、もし突然地震に合っても落ちついていられないと思います。だけど訓練のことを生かして落ちついて行動したいと思います。

小須戸吹奏楽団 第三回演奏会



今年もやります。奏でます。吹いて、奏でて、楽しんでもらえる演奏会を目指します。皆さんで、お誘い合わせて、どうぞ、ご来場下さい。

日時 二月四日(日) 開場一時半・開演二時 会場 地区公民館(三階ホール) 出演 小須戸吹奏楽団 ゲスト出演 新津第一小学校 (ミュージックバンドクラブ) 主催 小須戸地区公民館

日本一の花弁園芸産地をアピール

短期掲載コラム たがいに新潟、とすこい小須戸 (その1)

新潟五区エリアにおける「合併を活かした将来展望」のアイデアを三回シリーズで紹介いたします。今回は、その第一回目です。阿達秀昭さん(矢代田在住、新潟日報整理部長)の講演より、合併という形で規模が大きくなっていくのかなあと、一見思いますが、実際私たちがいるのにどれくらい良くなっているのか考えるとなかなか厳しい条件があるようです。旧小須戸町も、これといった合併のプラス面があまり感じられませんが、しかし、それをなげいては始まりません。どうしたら合併したこと



「花のふるさと」大アピールを

子供は新津に大人は小須戸に軍配

「第二回公民館囲碁・将棋大会」の将棋部門で

今年の小須戸地区市民展の期間中に公民館の和室で「第一回小須戸地区公民館囲碁・将棋大会」を開催しました。当日は新津や五泉の近郷からの参加もあり総勢四十名が「子供の部」と「大人の部」に分かれ対局を楽しみました。小学生の参加者の中には、あえて将棋部門の大人の部の方に挑戦し、次々と対局する大人達に「受け(守備)がうまい」とうならせている、一場面もありました。



大熱戦だった将棋決勝戦(手前:発地さん)

今大会のハイライトは、将棋部門の一般の部で三科新津名人(一回防衛者)と、小須戸の発地さん(ねんりんビック全国大会県代表)が、決勝戦で対局をしたところでした。一つの盤面に大勢の愛好者が集まり熱戦を見守りました。

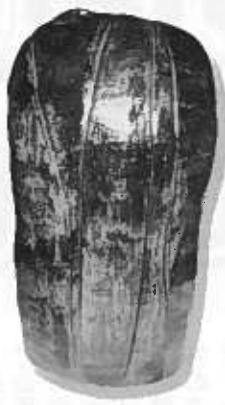
第33回新津美術展入賞作品の紹介(2)



奨励賞 「ソナチネ」
洋画部門 村山 成夫(舟戸)

絵は本来、音が聞こえないもの。親た人が、かすかにでも、すんだピュアな音のしらべを感じて頂ければ幸いです。(本人談)

選評 小林 和夫(現代パステル協会運営委員)
明るい軽快な「ソナチネ」の女性像は村山成夫さんのリズムカルなタッチで、若さを十二分に発揮しています。



奨励賞 「阿」
工芸部門 山崎 正子(舟戸)

「阿伝」(あうん)をテーマとして、「阿」と「伝」を一体ずつ作り、2作品を出品しました。入賞の「阿」作品には、「限りなく力強い輝く世界を」という思いを込めました。(本人談)

選評 佐藤公平(陶芸家)
粘土という自由な素材を生かした形づくりに取り組み独創的な作品を作られたことを評価しました。

文芸にいつく入賞作品の紹介

【短歌部門】
最優秀賞 坂井 隆思
「農民史」
書架にある父の残せし農民史
めくれれば微の匂ひたちくる
微臭き父の残せし農民史
梅雨の晴れ間の縁に並べる
亡き父の全文光る農民史
離農に迷ふわれにはむなし
強いられし三割強の減反に
ただ水張りだけの保全管理田
地下足袋の中に潜みて夜半を鳴く
すがれ蟋蟀の哀しみを聴く

選評 大野 義泰
坂井隆思の一つ一つ丁寧な詠み方と、読む者を引きつける力のある歌が評価された。

将棋部門

【子供の部】
優勝 井越 大輔(新津小五)
二位 田巻 謙太(小須戸中一)
【大人の部】
優勝 発地 勝(小須戸)
二位 三科 哲也(新津)
三位 相田 知巳(舟戸)

囲碁の部
【大人の部】
優勝 中野 太佳司(小須戸)
二位 山田 啓一(小須戸)

年末・年始休館日のお知らせ
小須戸地区公民館は、次の期間中、休館日となります。
十二月二十九日(金)から、平成十九年一月三日(水)まで

【俳句部門】
優秀賞 馬場 綾子(小須戸)
「お伊勢参り」
残雪の木曾路甲斐路の駒ヶ岳
しほはくは桐の花咲くつら折り
緑さす内宮様のつがひ鶏
新緑の社をわたる木遣節
赤福のほどよき甘味新茶汲む

【川柳部門】
優秀賞 能登としお(小須戸)
「過労死の墓」
半眼の仏に困る花粉症
震災の棚田を守る菅の笠
円空の鈍誇らしく美術展
ホスピスの風に命を遊ばせる
過労死の墓は静かに寂せてやる

《来月号の予告》
次回の公民館報では、地元の新津市展「にいがた市民文学」「県ジュニア展」の入賞・入選者を紹介します。

寒さもふっ飛ば!! 佳し物ご案内

【冬休み】わんぱく広場 “ミニ演奏会”
心いやされる音色をお楽しみください。
日時 12月27日(水) 午前10時~11時
会場 地区公民館(3階ホール)
対象 幼児~小学生・中学生・一般
内容 フルート、オカリナ他
出演 小林千明さん(舟戸)
主催 小須戸地区公民館

◎おはなしのせかいへ
日時 平成19年1月20日(土)
午前10時半~11時まで
会場 ふれあい会館
対象 幼児から大人まで
読み手 おはなしほけっと
主催 小須戸地区公民館

参加費無料
当日、直接会場へお集まり下さい。

参加者募集

◎お正月郷土料理教室
新潟のお正月にふさわしい料理を作ってみましょう。試食も行います。
期日 十二月二十八日(木)
午前10時~13時
会場 花とみどりのシンポルゾーン(うららこすど)
内容 越後雑煮、のっぺ、酢豆
参加費 一人千円
持ち物 エプロン、三角巾、タッパ(持ち帰り用)
定員 十六名(先着順)
申込み 十二月二十五日まで
花とみどりのシンポルゾーンへ(三八一五四三)
主催 小須戸支所産業課

市民は見た!! 今年の文化祭

次のような意見・感想がありましたので紹介します。
小須戸地区市民展について
◆盛りだくさんの企画がうまい展示され、素晴らしい市民展でした。(七十代女性)
◆とても楽しく感動的に見せてもらった。(四十代女性)
◆三日間は長すぎる。(二十代女性)
◆今年が少なかったように感じました。(六十代女性)
◆出品されている作品が、それぞれに素晴らしいと感じました。(七十代女性)
◆公民館職員はじめ、協力なされた皆様方の努力がよく分かります。(六十代女性)
◆政令都市になっても長く続けて欲しい。(八十代男性)
◆中学生や高校生の作品も出して欲しい。(八十代女性)
◆ちょっとした(十分)五分位で作れる体験教室があるとうい。(三十代女性)

◆もっと、大勢の人達に見てもらいたい。もう少し、ハデに宣伝してほしい。(四十代女性)
◆BGMが無くて、寂しい感じがした。(四十代女性)
◆皆さんが、とても素晴らしい作品を出品されていて、自分も目標を少し高く置いて頑張ろうと思えました。(六十代女性)

◆来年も続けてください。(七十代男性)
◆今年がカラオケの出演者が無くて残念でした。(七十代男性)
◆一年一回の芸能祭、毎年楽しみにしています。(六十代女性)
◆もう少し、お客様が入るように頑張ってください。(七十代女性・新津)
◆みんなで一緒に歌える歌や笑えるものがあったら良いと思います。(六十代女性)

◆高齢の方が頑張っているのを見て励みになりました。(七十代女性)

シリーズ 「今、子どもたちは」 (123)

お汁作りをしました

矢代田保育園

食事の大切さが見直されている今、「食育」を日々の保育の中で、いろいろなかたちで取り入れています。先日、子どもたちが育てた「さつまいも」を使って、年長児がお汁作りをしました。皮むきを使う子、包丁を使う子、みんな真剣です。力が入りすぎたせいでしょか「疲れた!」との声も聞こえました。作る人の苦労が少しはわかったかな?

お汁は、子どもたちの期待どおり、それはそれは、おいしくできあがりました。小さなお友だちに「おいしかったよ」「じょうずだね」と言われ、チヨッピリテラたり...楽しい経験だったようです。

食に関する体験、経験を通して、子どもたちが食べ物に興味をもち「おいしく」ごちそうを食べ、健康で、すこやかに成長することを願っています。

「今日のごちそうは、まかせてね!」

文芸欄

句	一つ句碑守る草庵の草紅葉 遠方にかがやく巨星神無月 祖父母に絵本の話や神の旅 雀らが日だまり好む一茶の忌 親方の業を心に松手入れ 地に帰る木の葉の錦織りながら 坑一本買ひ足してある冬構 神留守の賽銭の音ひびきおり 復興へおんなの意気秋桜	間野 良遊 馬場 綾子 須藤恵美子 長井 武雄 藤井 春 東樹 ちよ 関根 紀男 井本マツ子 風間 幸子
歌	サハリンを望む宗谷に碑はたてり 日本の北は此の地に終わる 隣り家の垣根を越えて咲きこぼるる 金木庫のかをり合け合ふ	村山 睦 馬場 綾子
短	柳(遺) 脈のある弟子へ師匠の激が飛ぶ そそかしい嫁の失敗見ないふり あの時は恨んだ父の平手打ち 老いの愚痴うなずきながら聞いてやり	岡田 良平 増井 都留 小林みのる 波辺 信子